

- 問1 東京都の昼夜間人口比率が111%以上と日本で最も高い水準にある一方で、埼玉県や千葉県ではその数値が100%を大きく割り込んでいる理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 青森公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---------------------------------------|---|--|
| 1. 埼玉県や千葉県はベッドタウンとしての性格が強く、昼間に東京都へ通勤・通学する流入人口が多いため | 2. 東京都は他の道府県に比べて人口密度が低く、常住人口が極端に少ないため | 3. 東京都の出生率が埼玉県や千葉県に比べて圧倒的に高く、年少人口が急速に増加しているため | 4. 埼玉県や千葉県には工場が集中しており、夜間に労働者が集まる構造になっているため |
|--|---------------------------------------|---|--|
-
- 問2 1960年と2014年の日本の製造品出荷額等の統計を比較したとき、北関東工業地域に関する記述として正しいものはどれか。なお、1960年時点の全国の総出荷額は約15兆円、2014年時点は約307兆円であるものとする。 (2018年 高知公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 全国の出荷額が大幅に増大する中で、北関東工業地域の占める割合も約3倍に拡大した | 2. 全国の出荷額が減少傾向にある中で、北関東工業地域のみが生産額を維持した | 3. 北関東工業地域は1960年時点で既に全国最大の割合を占めており、その後も維持された | 4. 高速道路の整備が遅れた影響で、北関東工業地域の出荷額の割合は1960年より低下した |
|--|--|--|--|
-
- 問3 近年の関東地方において、長年続いてきた都心への一極集中に対し、一部で見られる「分散」の動きの背景として、最も関係が深い事柄を選びなさい。 (2022年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------|-----------------------|-----------------------|-------------------------|
| 1. 情報通信技術の活用によるテレワークの普及 | 2. 都心部における大規模な工業団地の造成 | 3. 交通網の遮断による物理的な移動の制限 | 4. 農業における労働環境の悪化と離農者の増加 |
|-------------------------|-----------------------|-----------------------|-------------------------|
-
- 問4 東京都の23区内では、住民登録をしている居住者の数に、周辺の県から通勤や通学によって流入する人に加え、そこから区外へ出る人を差し引いた人口が、居住者の数よりも大幅に多くなります。このように、日中の経済活動が行われている時間帯における人口を何と呼びますか。 (2016年 三重公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|----------|-----------|
| 1. 昼間人口 | 2. 夜間人口 | 3. 労働力人口 | 4. 生産年齢人口 |
|---------|---------|----------|-----------|
-
- 問5 関東地方の東京都や埼玉県、千葉県などに広がる台地の表面を厚く覆っている土壌について説明します。この土壌は、富士山や箱根山などの噴火によって飛来した火山灰が長い年月をかけて降り積もってできたもので、酸化鉄の影響で赤色を呈しています。このような土壌を何と呼びますか。 (2026年 福島公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|--------|--------|-------|
| 1. 関東ローム | 2. シラス | 3. まさ土 | 4. 泥炭 |
|----------|--------|--------|-------|
-
- 問6 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県、東京都の4都県における人口統計を確認すると、東京都のみが「昼間人口が夜間人口を上回る」という特徴を持っています。これに対し、他の3県では夜間にその場所に住んでいる人口の方が多くなっています。東京都でこのような現象が起きる主な理由として、周辺の県からどのような目的で人々が流入していると考えられますか。最も適切な組み合わせを選びなさい。 (2024年 三重公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-----------|----------|----------|
| 1. 通勤と通学 | 2. 観光と買い物 | 3. 帰省と宿泊 | 4. 農業と漁業 |
|----------|-----------|----------|----------|
-
- 問7 ある港の貿易統計において、輸出総額よりも輸入総額の方が圧倒的に多く、主な輸入品目として衣服やコンピュータなどが上位を占めている理由として、最も適切な説明を次のうちから選びなさい。 (2018年 愛知公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 背後に大規模な消費地を抱えており、海外で生産された生活関連の製品を多く運び込む必要があるため | 2. 周辺に石油化学コンビナートが集まり、輸入した原油を加工して工業製品として輸出する拠点となっているため | 3. 内陸部に広大な工業団地があり、そこで生産された自動車を世界各地へ輸出する役割を担っているため | 4. 周辺に国際空港があり、電子部品などの小型で軽量の付加価値商品を生産し、航空機で輸出入するため |
|---|---|---|---|
-
- 問8 関東平野の台地に広く分布している、かつての火山活動によって放出された火山灰が偏西風で運ばれ、長い年月をかけて堆積した赤土の地層を何と呼びますか。 (2024年 岐阜公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|--------|--------|--------|
| 1. 関東ローム層 | 2. シラス | 3. マサ土 | 4. 沖積層 |
|-----------|--------|--------|--------|
-
- 問9 地形図において、国道20号線を示す太い道路に対して、旧街道である甲州街道が直角に交わり、アルファベットの「T」の字のような形状で合流している地点があります。このような形状の交差点を何と呼びますか。 (2019年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-----------------|--------------|---------------------|
| 1. 十字路 | 2. 丁字路 (丁字型交差点) | 3. スクランブル交差点 | 4. 環状交差点 (ラウンドアバウト) |
|--------|-----------------|--------------|---------------------|
-
- 問10 日本の工業出荷額の統計において、中京工業地帯に次ぐ規模を維持し、近年その割合を上昇させている北関東工業地域の背景について、正しい記述はどれですか。 (2022年 佐賀公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 高速道路を利用したトラック輸送の利便性を活かし、内陸部に電気機械などの加工組立型工業が集積したため。 | 2. 太平洋沿岸の良好な港湾施設を活かし、海外からの原料輸入に依存する鉄鋼業や石油化学工業が発展したため。 | 3. 豊富な地下資源と水力発電を利用するために、山間部へアルミニウム精錬工場が数多く誘致されたため。 | 4. 東京に近い利点を活かし、中小規模の工場による印刷業や食料品工業が都市部で高度に発展したため。 |
|---|---|--|---|
-
- 問11 尾瀬国立公園は、広大な湿原や山岳地帯を有し、日本の複数の地方にまたがって位置することで知られています。この国立公園が位置している4つの県の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2017年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 1. 群馬県・栃木県・福島県・新潟県 | 2. 群馬県・長野県・福島県・山形県 | 3. 栃木県・新潟県・山形県・長野県 | 4. 群馬県・山梨県・静岡県・長野県 |
|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
-
- 問12 千葉県に位置するこの半島では、江戸時代に九十九里浜などでいわし漁が盛んに行われた。漁獲されたいわしを干して肥料に加工し、各地の綿花栽培などに利用されたが、この半島はどれか。 (2018年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 房総半島 | 2. 能登半島 | 3. 紀伊半島 | 4. 渥美半島 |
|---------|---------|---------|---------|
-
- 問13 群馬県などの北関東や東海地方の工業都市では、南アメリカ出身の在留外国人が多く生活しています。これらの地域で、公共施設の案内板や広報誌が「日本語」と「ポルトガル語」で併記されている主な理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2018年 鳥取公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 1990年の入管法改正によって就労制限のない日系人の受け入れが始まり、ブラジルからの労働者が工業地域に定住したため。 | 2. 技能実習制度の拡充により、農業や漁業の技術を習得するために南アメリカ諸国から多くの若者が来日したため。 | 3. 経済連携協定 (EPA) に基づき、看護師や介護福祉士の国家資格取得を目指す東南アジア出身者が急増したため。 | 4. 高度経済成長期に、石炭から石油へのエネルギー革命の影響で失業した海外の炭鉱労働者を積極的に受け入れたため。 |
|---|--|---|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 埼玉県や千葉県はベッドタウンとしての性格が強く、昼間に東京都へ通勤・通学する流入人口が多いため	昼夜間人口比率は、分母を常住人口、分子を昼間人口として算出されます。埼玉県や千葉県のような周辺地域は、夜間に寝る場所である「住宅地（ベッドタウン）」としての役割が強く、昼間は都心のオフィスや学校へ人が移動してしまうため、比率が低くなります。逆に、移動先である東京都は昼間の人口が膨れ上がるため、比率が高くなります。
問2	答え 1 全国の出荷額が大幅に増大する中で、北関東工業地域の占める割合も約3倍に拡大した	日本の製造品出荷額が全体として15兆円から307兆円へと巨大化する中で、北関東工業地域のシェアは3.3%から9.2%へと成長しました。これは、既存の京浜工業地帯などのシェアが低下する一方で、北関東が新たな日本の工業の拠点として重要な地位を築いたことを示しています。
問3	答え 1 情報通信技術の活用によるテレワークの普及	長らく東京都心部への人口集中が続いてきましたが、近年はインターネット環境の整備に伴い、職場に出勤せず自宅などで仕事をするテレワークが普及しました。これにより、必ずしも都心に住む必要がなくなったため、住居を郊外や自然豊かな地方へ移す「分散」の動きが見られるようになってきました。これは一極集中の緩和につながる新しい変化として注目されています。
問4	答え 1 昼間人口	東京都の区部などの大都市中心部では、オフィスビルや大学などの教育機関が密集しています。そのため、朝から夕方にかけて周辺の県から多くの人々が鉄道などを使って移動してきます。このような日中の活動時間帯の人口を「昼間人口」と呼び、実際にその地域に住んでいる「夜間人口（常住人口）」と比較することで、その地域の都市としての機能の強さを測ることができます。
問5	答え 1 関東ローム	関東地方の台地で見られる赤色の土層は「関東ローム」と呼ばれます。これは数十万年前から続く火山活動（主に富士山や箱根山）によって噴出された火山灰が、偏西風に乗って運ばれ、地表に堆積して形成されたものです。九州南部の火山灰台地を作る「シラス」や、中国地方などで見られる花こう岩が風化した「まさ土」と区別して覚える必要があります。
問6	答え 1 通勤と通学	東京都には約81万もの事業所や179校に及ぶ大学などの教育機関が高度に集中しています。そのため、周辺の埼玉県、千葉県、神奈川県から仕事や学びのために多くの人々が移動してきます。このように、ある地域に住んでいる「夜間人口（常住人口）」に対し、他の地域から流入する人々を加えた「昼間人口」が上回る現象は、大都市の中心部で顕著に見られる特徴です。
問7	答え 1 背後に大規模な消費地を抱えており、海外で生産された生活関連の製品を多く運び込む必要があるため	東京港のように、輸出額よりも輸入額が極めて多い港は、その背後に人口が密集する大規模な消費地が存在するという背景があります。衣服やコンピュータ、魚介類などは都市部で暮らす人々の生活に直結する「消費財」であり、それらを海外から効率よく取り込むための玄関口としての役割を果たしているため、輸入超過の傾向が強くなります。
問8	答え 1 関東ローム層	富士山や箱根山などの噴火によって噴出した火山灰が関東平野の台地に降り積もって形成されました。鉄分が酸化しているため赤みを帯びた土色をしており、水はけが良いという性質を持っています。
問9	答え 2 丁字路（丁字型交差点）	一つの道路が別の道路に突き当たる形で接続し、地図上でアルファベットのTの字（漢字の「丁」の字）に見える交差点を丁字路と呼びます。国道20号のような主要な幹線道路と、甲州街道のような歴史的な旧道が交差する地点では、道路の整備時期の違いからこのような形状が見られることがあります。
問10	答え 1 高速道路を利用したトラック輸送の利便性を活かし、内陸部に電気機械などの加工組立型工業が集積したため。	かつての日本の工業は港を利用した臨海型の重化学工業が中心でしたが、北関東工業地域は「内陸型」の工業地域として発展しました。地価が安く広い土地が確保できること、そして高速道路網によって大消費地である関東地方や全国各地へのアクセスが良いことから、特に電気機械などの付加価値が高い加工組立製品の生産拠点となりました。この構造的な強みが、近年の出荷額割合の増加につながっています。
問11	答え 1 群馬県・栃木県・福島県・新潟県	尾瀬国立公園は、関東地方の群馬県と栃木県、東北地方の福島県、そして中部地方の新潟県という3つの地方の境界線上に位置しています。これらの県境は、国立公園の中心部である尾瀬ヶ原や尾瀬沼の周辺で複雑に接しており、地理的に非常に珍しい環境を形成しています。隣接する山形県や長野県と混同しやすいため注意が必要です。
問12	答え 1 房総半島	この地域では地引き網による漁業が発展し、干鰯（ほしか）と呼ばれる肥料（金肥）が多く生産された。これは商品作物の栽培を支える重要な肥料として、西日本を含めた全国へ流通した。
問13	答え 1 1990年の入管法改正によって就労制限のない日系人の受け入れが始まり、ブラジルからの労働者が工業地域に定住したため。	日本の製造業における労働力不足を補うため、1990年に入管法が改正され、日系ブラジル人などが日本で働くことが容易になりました。彼らが自動車産業などの工場が集まる地域に集中的に住むようになったため、生活支援の一環としてブラジルの公用語であるポルトガル語での情報提供が重要視されるようになりました。